

# 詩吟

平成二十九年 度 陵水会 東京支部総会

ぶかん やど  
武関に宿る 李涉 りしやう

とお しんじやう わか ばんり あそ  
遠く秦城に別れて万里に遊ぶ

らんざん こうげ しやうしゆう い  
乱山高下しつつ商州に入る

かんもんとき かんけい みず  
関門鎖さず寒溪の水

いちやせんかん かくしゆう おく  
一夜潺湲として客愁を送る

## 【通釈】

遥かに遠く長安に別れを告げて、万里の彼方へと旅に出た。  
そして山並みが高く低く乱れたように連なる山々を分け入って、商州に着いた。  
ここの嚴重な関所も、冷え冷えとした谷川の水までは堰き止められないものと  
見えて、一晚中さらさらと流れ、その音は旅の憂いを一層募らせるのである。

## 【作者】

李涉（七七三―八三二）中晩唐の詩人。洛陽の人で廬山に隠棲して白鹿を飼っていたので、白鹿先生と呼ばれ隠居地も「白鹿洞」と呼ばれた。廬山南麓の「白鹿洞書院」は有名。憲宗時代に太子通事舎人となった。

## 会員募集

発足5年目に入り陵水メンバーは20名を越えました。  
本年5月横浜にみなとみらい分室が開設されました。

詳細は裏面をご参照下さい。

岳精流日本吟院千代田岳精会

会長 鈴木重成（大学七回卒）

★新陵教場

教場 西新宿明治安田生命ビル地下一階（新宿駅西口改札より徒歩5分）

練習 月三回（第一、二、四木曜日）午前十時四十分から午後一時まで

連絡先 教場長 浦谷政夫（大七回卒） 049・261・5508

副教場長 堀内 和（大十二回卒） 042・488・5280

★新陵教場みなとみらい分室（東急東横線みなとみらい駅2番出口徒歩3分）

教場 横浜市西区みなとみらい四丁目九一-A（MMタワーズフォレス・サロン）

練習 月二回（土曜日午後二時から四時まで。開催日は前月八日決定）

連絡先 分室長 田川行雄（大9回卒） 045・883・4344

副分室長 滋野輝彦（大十七回卒） 045・721・1304

★東陽町支部教場

教場 西新宿明治安田生命ビル地下一階（新宿駅西口改札より徒歩5分）

練習 月三回（第一、二、三水曜日）午後二時から四時まで

連絡先 教場長 宮野幸雄（大十二回卒） 042・322・1804

千代田岳精会では、鈴木会長のご指導のもと各会員が各教場で漢詩・短歌・俳句・新体詩などの作者・詩について学ぶほか、教場の枠を超えて詩歌研究会・演奏研究会・俳句自作自詠研修会・剣詩舞研修会・月曜会・千吟会・漢詩を作る会などによりに参加して、詩吟を楽しく学びながら交流を深めています。

ご関心ある方は、三教場とも交通至便ですのでお気軽にお立ち寄り下さい。